

Weed Lock（ウィードロック）施工要領書

（平成 21 年 4 月）制定

（平成 25 年 1 月）改訂 3

（平成 26 年 6 月）改訂 4

（平成 27 年 4 月）改訂 5

※平成 23 年 1 月改訂はウィードロック製品の規格寸法の変更による改訂

※平成 24 年 3 月改訂はウィードロック製品の施工方法変更による改訂

※平成 25 年 1 月改訂はウィードロック製品の施工方法変更による改訂

※平成 26 年 6 月改訂はウィードロック製品の施工方法変更（目地材）による改訂

※平成 27 年 4 月改訂はウィードロック製品の施工方法変更（目地材・その他）による改訂

株式会社 S I O N

目次

1、はじめに	2
2、ウィードロック製品の材質	2
3、ウィードロック製品の規格サイズ	2
4、ウィードロック製品の表面カラー	2
5、ウィードロック製品の取り扱いについて	3
6、ウィードロック施工条件について	3
7、ウィードロックの施工について	3
8、成型伸縮目地について	5
9、ウィードロックの切断加工について	7
10、ウィードロック製品敷き固めについて	7
11、敷設後の製品クレームについて	7

1、はじめに

本要領書は **Weed Lock** 以下カナ（ウィードロック）の外構土間・屋上床・その他土間、床面及び法面に敷設するための敷設方法及び注意事項等を示した施工要領書としております。

ウィードロック製品をご利用して頂きます皆様におかれましては、必ず本要領書記載事項に沿った施工及び取扱いをお願い申し上げます。

2、ウィードロック製品の材質

ウィードロック製品の材質は木質チップを固化したチップ集合体製品であり、その固化している接着剤も木質で出来た接着剤を利用している成型版であります。

その他ウィードロック製品に関する性能等のお問い合わせは(株)S I O N製造事業本部 TEL (077) -567-7272 までお問い合わせください。

3、ウィードロック製品の規格サイズ

ウィードロック製品の規格サイズは第1表に示した規格サイズとなります。

(第1表 規格サイズ)

	型番	幅 (mm)	長さ (mm)	厚み(mm)	1 m ² 当たり
屋外利用	S-WL-HG-200	200	200	50	25 枚
	S-WL-HE-195	100	200	50	50 個
	S-WL-HF-95	100	100	50	100 個
屋内利用	S-WL-FF-300	300	300	35	11.1 枚
	S-WL-FF-200	200	200	35	25 枚
	S-WL-FF-195	100	200	35	50 個
	S-WL-FF-95	100	100	35	100 個

※その他ウィードロック「樹のれんが」「炭のれんが」の規格サイズはカタログを参考

4、ウィードロック製品の表面カラー

- ① ウィードロック製品のカラーは49色＋無塗装からお選び頂く事が出来ます。
- ② ウィードロック製品は、様々な木質チップを混合して使用している為、木質チップの樹種、形状または接着剤の含浸程度により、色合いがそれぞれ異なります。
- ③ ウィードロック製品の塗料は耐候性及び紫外線等による劣化を抑制するために塗られておりますが、経年塗料劣化によっては適度な塗替えをお勧め致します。
- ④ 塗料劣化については表面の塗料が薄くなり、灰色（木の色素が無くなった状態）を言います。
- ⑤ ウィードロック製品に関する塗料塗替えに関してはメーカー（(株)S I O N）から専用塗料をお買い求めください。

5、ウィードロック製品の取り扱いについて

1) 保管

保管については製品敷設前は必ず雨養生を行うか出来るだけ屋根のある場所に保管ください。この製品は保水性が高いため水分が入ると重くなります。

また、この製品は水分を含むと一定の膨張がありますので敷設に対して支障をきたします。十分にご注意ください。

2) 加工（切断）

ウィードロック製品を加工（切断）する場合は、手ノコ及び電動丸ノコ、電動スライド丸ノコをご使用ください。特に安全性については電動スライド丸ノコをお勧め致しております。

また切断時には安全上の為、保護具の着用をお願い申し上げます。

（保護メガネ等）

3) 製品膨張対応について

ウィードロックは雨等で水分を含むと一定の膨張が見られます。

その膨張対応としてはメーカー（株S I O N）指定の成型伸縮目地を使用して頂きます。

6、ウィードロック施工条件について

ウィードロックの施工条件については下記の通りとなります。

1) 雨天時の施工はしないでください。

2) 自然条件に対し気温が 35℃以上での条件下では施工完了後に反りが発生する場合がありますので施工完了後散水する必要があります。

3) 道路の排水勾配は 2%以上が必要になります。

4) ウィードロックでは木質であるため伸縮が発生いたしますので伸縮目地を約 25㎡未満区画に用いてください。

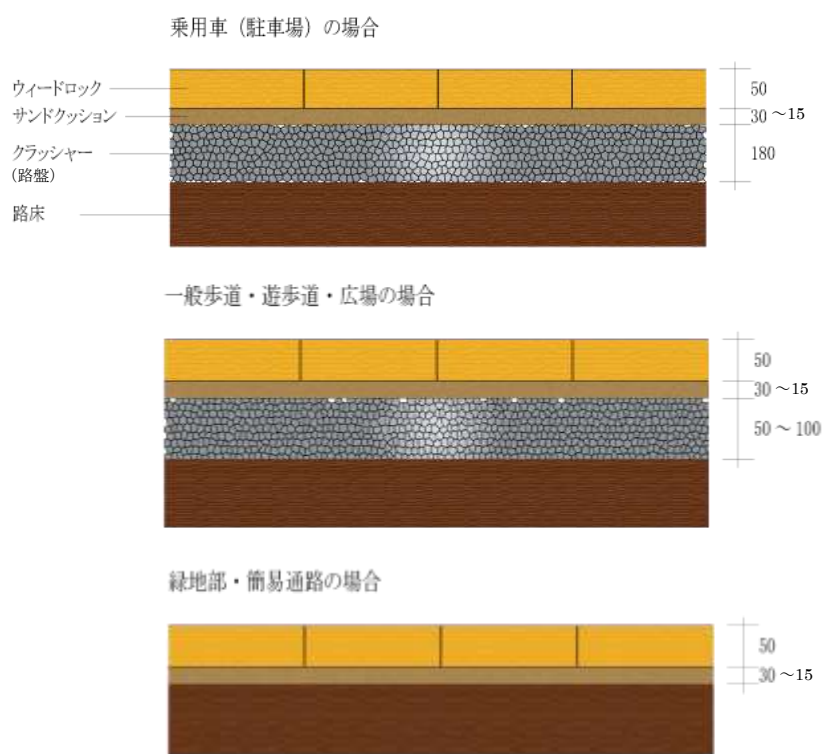
5) 伸縮目地はメーカー指定の伸縮目地をご使用ください。詳しくは「8、成型伸縮目地について」P-6 参考

7、ウィードロックの施工について

ウィードロック製品ではその製品特性を生かし、様々な場所にご利用頂く事が出来ます。その多くは、外構の敷設用資材として多く用いられ、公共では通路、歩道、緑地駐車場、法面等に利用して頂く事ができます。また民間ではマンションや戸建てのエクステリア用敷設資材としてもご利用頂いております。

施工については路盤面敷設、屋上（陸屋根）敷設、法面敷設を大きく 2つの施工方法をご説明致します。その他の施工方法については、メーカー（株S I O N）にお問い合わせください。

1) 路盤面敷設施工仕様



1-1) 路盤面敷設方法

① サンドクッションの敷き込み

路盤の不陸を整正した後、サンドクッション（川砂）を敷き詰めプラコテで平坦に均します。均す際にはプラコテで軽くサンドクッションを叩き転圧しながら平坦にします。

※ 路盤条件

クラッシャーが粗粒（RC-40）程度の路盤仕様の場合は透水シートを用いてください。



② ウィードロックの敷き込み

ウィードロックはサンドクッションで不陸を整正した後敷き込みます。敷き込みは敷き込み幅を基準に端部が均等に割れるようにしてください。敷き込みはサンドクッション上に置くだけです。けっして引きずらないでください。敷設を行う際、きつく敷き詰めないでください。



③ 成型伸縮目地

ウィードロック敷設の際に約 25 m²を超える敷設や敷設の形状により伸縮目地が必要となります。

伸縮目地はメーカー指定の伸縮目地をご利用ください。

基本的に 5mピッチ毎に使用しますが、例外として施工箇所 4 辺それぞれが 6 m未満であれば、目地は 4 辺のみ入れてください。

成型伸縮目地は、接着テープ付きとなりますが雨等で粘着が弱まる場合がございます。

④ 転圧

敷設が終了後、ウィードロック上を数回転圧し、平坦仕上げを行います。転圧を行う際には、コンパネを用いて先に敷きコンパネ上で転圧を行い仕上げとなります。

※転圧後、製品間に隙間及び成型伸縮目地と隙間が発生した場合でも、数日で製品が膨張し隙間が無くなるため珪砂等の充填は行わないでください。



2) 屋上（陸屋根）敷設施工仕様

屋上施工の場合



2-1) 屋上敷設方法

① 屋上（陸屋根）敷設

屋上の汚れ等盛装した後、直接敷いて頂きます。

端部や両サイドに見切りが無い場合はボンド接着を端部製品に行ってください。

また 25 m²を超える敷設については、成型伸縮目地が必要となります。

伸縮目地に関しては伸縮目地仕様をご覧ください。

8、成型伸縮目地について

成型伸縮目地は路盤、屋上（陸屋根）、法面その他に敷設する際に必ず必要となる膨張吸収目地材であります。

この成型伸縮目地を使用せずに施工をした場合、製品膨張における伸縮で浮き上がりが生じる恐れがありますので必ずご使用ください。

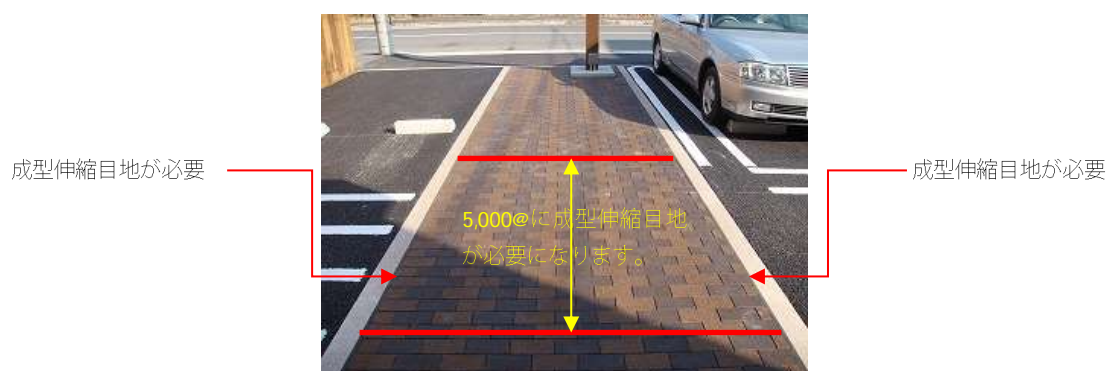
1) 成型伸縮目地

成型伸縮目地の使用は下記の通りにご使用ください。

(通路の場合)

両サイドに見切りがある場合は両サイド共に成型伸縮目地が必要となります。

見切りが無い場合は両サイドに成型伸縮目地は必要ありません。

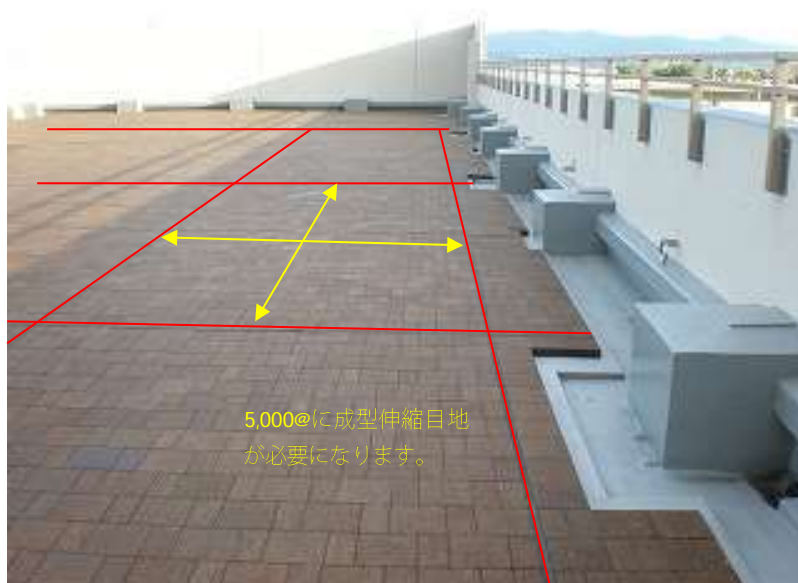


(広範囲敷設の場合)

両サイドに見切りがある場合は両サイド共に成型伸縮目地が必要となります。

見切りが無い場合は両サイドに成型伸縮目地は必要ありません。

※最大 5,000@までは許容範囲としております。



9、ウィードロックの切断加工について

ウィードロック製品は切断における加工が容易に行えます。

切断加工としての工具は手ノコ、電気丸ノコ、電気スライド丸ノコのいずれかをご利用頂きますが安全性を重視する上では電動スライド丸ノコをお勧め致します。また切断加工の際には必ず保護具（防護メガネ）等を着用し行ってください。



10、ウィードロック製品敷き固めについて

ウィードロック製品を敷き詰め後にプレートランマを使用して転圧を行ってください。

全体が均一に転圧した後、完了となります。

11、敷設後の製品クレームについて

1) クレーム事例

クレーム) 敷設数日後、製品が浮き上がってきた。

原因) 敷設の際にきつく敷き詰めたことが原因です。

対応) 端部の製品に少し余裕を持たせるため切断加工を行ってください。